

# 個人の方からのご意見

# 【目次】

| 番号   | 要望日         | 住所   | 頁数    |
|------|-------------|------|-------|
| 前001 | 平成24年11月29日 | 大泉町  | 35    |
| 前002 | 平成24年12月4日  | 不明   | 36    |
| 前003 | 平成24年12月12日 | 小淵沢町 | 37-38 |
| 前004 | 平成24年12月10日 | 大泉町  | 39    |
| 前005 | 平成24年12月25日 | 県外他  | 39    |
| 前006 | 平成24年12月25日 | 県外他  | 40    |
| 前007 | 平成24年12月25日 | 県外他  | 40    |
| 前008 | 平成24年12月25日 | 県外他  | 41    |
| 前009 | 平成24年12月25日 | 県外他  | 41    |
| 前010 | 平成24年12月25日 | 不明   | 42    |

| 番号   | 要望日         | 住所  | 頁数    |
|------|-------------|-----|-------|
| 前011 | 平成24年12月26日 | 県外他 | 42    |
| 前012 | 平成25年1月13日  | 高根町 | 43    |
| 前013 | 平成25年1月14日  | 大泉町 | 43    |
| 前014 | 平成25年1月14日  | 高根町 | 44    |
| 前015 | 平成25年1月14日  | 長坂町 | 44    |
| 前016 | 平成25年1月15日  | 大泉町 | 45-50 |
| 前017 | 平成25年1月15日  | 高根町 | 51    |
| 前018 | 平成25年1月15日  | 高根町 | 51    |
| 前019 | 平成25年1月15日  | 大泉町 | 52    |
| 前020 | 平成25年1月15日  | 高根町 | 52    |

Microsoft Outlook Web App

ここに検索語句を入力 | メールボックス全体

サインアウト 前001

メール

返信 全員へ返信 転送 迷惑メール 閉じる

連絡先

下書き  
削除済みアイテム  
受信トレイ (2)  
送信済みアイテム  
迷惑メール

クリックしてすべてのフォルダーを表示します

フォルダーの管理

**【甲府河川国道事務所】ホームページよりお問合せ**  
“甲府河川国道事務所メールフォーム” [koufu@ktr.mlit.go.jp]

送信日時: 2012年11月23日 9:02  
宛先: koufu

お問合せフォームより送信です。

日時 2012/11/23 09:02:48  
No. 127

ご意見・ご質問

中部横断自動車道について  
以下につき、ご照会いたします。

1. 11月22日のWGでの上記計画道の山梨県内区間のルートの策定経緯について。
2. 上記1への計画変更とした理由と目的について
3. 旧計画でR141上に本計画を敷設する市民提案がなされていますが、その後の検討と今次のWGへの組み込み方について。
4. 基本計画策定時と今日の経済・社会環境との比較検討結果について。  
(当然なされていると思うが。)
5. 今次のデフレ・金融一体政策の関連について

上記照会します、責任ある回答をお待ちします。

関東地方整備局メール管理システムに入力がありました。

=====

日時 2012/12/04 10:38:39

No. 3238

ご住所

ご職業

性別

年代

件名 社会資本整備審議会道路分科会関東地方小委員会ワーキンググループの

議論について

送信内容

--

to: 社会資本整備審議会道路分科会関東地方小委員会 小濱哲 委員 殿

cc: 久保田座長、二村委員、国土交通省関東地方整備局

中部横断自動車道八ヶ岳南麓の会 (<http://cyubu-odando.nanroku.net/>) の雑用をして  
いる者です。

1. 11月21日の第1回WGで、案3（国道141号改良案）が提出されず、従って検討もされな  
かったことは大変遺憾であり、以前から当会が主張しているとおりの国道141号改良案、か  
つ須玉IC付近で中央自動車道と接続するルートがベストと考えます。

（7月8日の意見交換会において長野側から、東京等へのアクセスの利便性から、中央道  
との接続ポイントは東よりであるべきとの意見が複数ありました。久保田座長もこのこと  
を念頭において第1回WGで改めて接続ポイントの可否について言及したものとします。  
A、B案は第2回アンケートで提示されたルートよりわずかに長坂IC寄りにはなったとは  
いえ、この長野側の意見も反映されたものとは言えないのではないのでしょうか）

2. 10月4日の関東地方小委員会において、別荘等を避け、自然と景観を保護したルート  
案を出すということでしたが、清里には、長く景観形成に力を入れ、スローツーリ  
ズムを目指して、清里のよき自然や良質の景観作りを行っている朝日ヶ丘地区（※）があ  
ります。

※<http://www.asahigaokahan.com/> ; <http://yatsugatake-keikan.net/study>

/2006/study2.html

その前提で、第1回WGに提出されたルート帯案A、B案を見ますと、景観保全活動を行っ  
ており清里の良き自然や景観が保たれている朝日ヶ丘付近を通過するB案は到底受け入れ  
るものではないと考えております。

また、清里アクセスの点からB案が望ましいとのご意見がありましたが、これは、以下  
の理由から長期的視点に立った清里の観光や発展にはプラスにならないどころかマイナス  
であり、ひいては北杜市全体にもマイナスであります。

おそらく、大型バスで観光スポットに乗り付ける1980～90年台前半のマスツーリズムを  
想定されているのかと思いますが、北杜市の現在の観光の現状に関して意見を述べさせて  
いただきます。

#### (1) 清里だけではない

北杜市の主要産業である観光業ですが、その観光スポットは、清里だけではなく、八ヶ  
岳南麓全体（清里～大泉～長坂～小淵沢）、武川・白州エリア、須玉エリアなど、多種多  
様に広がっています。そのどれも景観や高度差の違いがあり、山梨県や北杜市の要望書で  
言うような清里だけが市内の観光ではありません。

清里の現状は次に記しますが、個性的な店は清里以外の地域に多く、このような多様な  
形態が「八ヶ岳ファン」を作る理由の一つのようです。

#### (2) 現在の清里の現状

ご存知とは思いますが、今の清里は以前とは様変わりしました。一言で言えば、バブル  
の残滓を引きずった惨状があります。

駅前だけは補助金を使って整備しましたが、一時期芸能人の店などが乱立した駅前商店  
街は言葉にするのもはばかれるさびれようです（清里駅前だけは補助事業で数年前整備  
しました）。

その原因は、以前のように大量消費をする時代ではなくなってきているため、マスツー  
リズムで訪れる観光客を相手にした単なる観光店は立ちゆかなくなっているからです。

#### (3) マスツーリズムでなくスローツーリズム

マスツーリズムのスポットとなっている清泉寮や萌木の村の集客力は相当なものがあり  
ますが、実際には、見るだけの客の増加であり、一人当たりの購買単価の減少に直面して  
いると聞いています。しかし、現在は、家族や友人でゆっくりと楽しむスローツーリズム  
の時代となっており、清里もその波からの例外ではありません。

そのため、落ち着いた雰囲気をお好む方々は八ヶ岳南麓に来て、前時代的な店や観光ス  
ポットが目立つ清里には行かない観光客も相当いると聞いています（大泉から旧清里有料  
道路を抜けて清里駅前に出ると非常に興ざめするのが実感です）。かつ、八ヶ岳南麓を訪

To

北杜市長 白倉政司様

国交省社会資本整備審議会関東地方小委員会委員長 石田東正様

同ワーキンググループ座長 久保田尚様

国交省関東地方整備局甲府河川国道事務所

Subj. 中部横断自動車道と北杜市のスローガン「人と自然と文化が躍動する環境創造都市」の実現に向けて一市民の思い

中部横断自動車道（長坂一八千穂間）について本年7月8日、長野県南牧村で行われた意見交換会の結果内容をふまえ設けられた、国土交通省社会資本整備審議会の関東地方小委員会（委員長 石田東正筑波大学大学院教授）ワーキンググループ（座長 久保田尚埼玉大学大学院教授）の調査・検討、再審議の末、11月“清里高原迂回への2案”が最終案として提示されました。私は、前計画案に比べかなり前進したものと高く評価しています。現在、私は、環境創造、とりわけランドスケープ（景観）の思想（武内和彦東大大学院教授）に共鳴し、一市民として北杜市のスローガンである“人と自然と文化が躍動する環境創造都市”の実現に向けた提言をしたいとおもっています。なお、当高速道建設については条件付賛成の立場を通してきました。

また、環境教育リーダー（インターリター）として本格的に行動したく、その一環として、私の思い（下記）を、北杜市長ならびに石田東正先生、久保田尚先生はじめ国交省中部横断自動車道計画立案関係の方々へお伝えしたいとおもいます。ご一読し参考の一環になれば幸いです。

#### 移住した16年前の八ヶ岳とその履歴

私は16年前、南アルプス北岳の勇姿、甲斐駒ヶ岳とそれに連なる早川尾根や八ヶ岳南麓高原の景観や自然環境に魅せられ鎌倉市から小淵沢町に移住しました。電線・電柱さえなければカナダのビクトリアとそっくりと留学中の娘も喜んでいました。八ヶ岳の自然環境や景観は、本当に貴重な財産だとおもいました。

しかし、この10数年間を振り返ると、計画性の乏しい規制の殆どない別荘地の開発（森林の伐採、里山の荒廃、インフラ未整備など）、美的感覚に欠けたぶっ太い電線・黒い通信線の束の乱脈\*1、都心から近い短いゴールデンウィークや夏の土日祝日は観光客や別荘族でごった返しています。車も多く（当然排ガス、騒音も）車道の傷みも激しく補修も遅れ勝ち\*2、さらに水道掘削工事後の舗装も雑、伸び放題の雑草で歩道は見るに忍びない、

空缶・ペットボトルは勿論、車からは見えない谷間には大型粗大ごみの散乱\*3。地元では、何とか日本一とかくだらない独りよがりの宣伝（広告）で満足の様子\*4。はたして北杜市のスローガンである「人と自然と文化が躍動する環境創造都市」と胸を張っているのでしょうか。

文化（科学）と自然をうまく融合させる能力がなければ日本国中どこにでもある市町村にすぎません。行政もそうですが自然環境保全、地球規模でのエネルギー問題、ごみ処理問題および原発、新幹線・高速道など複合的問題を含めた多様な環境問題をごく皮相的にしか捉えていない人びとが多いようにおもえます。\*5

#### 約半世紀前の八ヶ岳原風景

私が20歳の夏（昭和30年）、東京から中学時代の仲間5人とJR小海線の清里駅からテントを担ぎ、清泉寮を左に見、念場ヶ原をヘルマンヘッセの水彩画の様な景色を眺めながら歩き、美しの森でテント泊。翌朝、テント場から見たモルゲンロートに映える赤岳東面の巨大な岩壁の美しさに感動。大門沢から県界尾根に取付き赤岳に登頂、横岳、硫黄岳を縦走して夏沢峠にてテント泊。3日目は、東天狗・天狗岳往復、中山峠を通過して高見石、そこを東へ下って白駒の池辺にテント設営。冴え渡る月の光に辺りはまるで幽玄の世界でした。最終日、横断道路（299号線）工事が始まったばかりの麦草峠を下り、長野県蓼科温泉に近い小済の湯（バス停）まで歩きました。

当時の豊富な高山植物や美しい白樺林、飛びかう多くの野鳥や高山蝶、深い静かな森林と動物たち\*6、といった自然環境は取り返しの付かないほど変化してしまいました。北杜市長坂町ではオオムラサキを大きなゲージで囲って日本一を誇っていますが、環境（観光）先進国では考えられないことです。環境無視と計画性のない道路建設、計画的植林と維持活動をおろそかにしたこと、農家の長年におたる農薬使用、ヤマニアによる標本のための乱獲の影響など決して忘れてはなりません。

平成18年11月の町村合併前、町の議員たちはこぞって地域の観光開発研修と称し海外視察に出かけ感じ取ったでしょうが、歴史の長い欧米の保養・観光地に比べ自然環境保護や観光開発力は実にお粗末です。今その研修成果はどこに生かされているのでしょうか。

\*7 辛うじてヨーロッパアルプス地方のアルム；Alm（夏の高原牧草地風景）をおもわせる野辺山高原から清里高原周辺の一部および県営牧場の区域だけが約半世紀前とあまり変わっていないのがせめてもの慰めです。

行政・議会や多くの市民がしっかりとし中長期的総合的視点に立った持続可能な（Sustainability：環境を破壊することなく資源利用を継続することができる）環境対策や

観光開発（または振興）策\*8 がとられ、かつ環境教育が普及していれば、ドイツ、フランス、イタリア、スイスやオーストリアおよびスウェーデン、カナダなど\*9 に匹敵する環境（観光）先進国に近づいていたことでしょう。

#### エコグリーンと地域活性化対策

数年前から、北杜市は、エコグリーン環境対策、農業の効率化・雇用対策としての大規模農園・りんごや桃、ぶどうなどの特産果樹園誘致活動などの実現に向け進めているようです。地域の真の活性化のためには、八ヶ岳のもつ景観と自然環境、とりわけ地の利（晴天日数や地形及び東京はじめ中京、関西圏からも近い）を最大限に生かすことはいまでもありません。\*10 そして、当高速道問題は市単位のレベルではなく日本海に面した新潟県、長野県、山梨県、太平洋岸の静岡県等の広域かつ大局的視点で深く議論し、上記対策によって付随的に生じる地域（北杜市）の諸問題、生活交通円滑化や公共交通の利便性の向上と観光振興のための道路問題\*11 などについて市単位レベルで議論すればいいとおもいます。

#### 北杜市スローガン「人と自然と文化が躍動する環境創造都市」の実現に向けて

他県に誇れる環境（景観）保全や観光産業発展を目指し、長期滞在型リゾート地開発（八ヶ岳高原ロッジ、清泉寮、リゾートホテル・リゾートレが好例）さらに青少年のための山岳および環境教育リーダー育成を兼ねて八ヶ岳東面に、厳冬期・積雪期の登山基地として通年利用できるヒュッテ新設・登山学校併設、及び春から秋の芸術学園開設などのため、長野県側とも協力し、\*12（民間大手や地元有力中堅（アルソアやキッツなど）・中小企業および（地元在住を含む）有識者の力も得て）グローバルな感覚で、文化（科学）と自然を融合させる叡智をもって、美しい八ヶ岳の景観にマッチしたエコ型登山電車またはケーブル、そして（もし、中部横断自動車道北杜市区間が市民の反対のため実現できない場合）佐久側（または清里）と諏訪側を結ぶ八ヶ岳横断高速道トンネルと一流高原リゾートホテル群の三つを核とした鉄とコンクリートの塊とガラスによる芸術的人工美の所産\*13 の実現を期待したいものです。

田舎暮らし\*14 も時にはいいですが、これからは、もっと前向きで夢のある誰にでも楽しめるユニークなしかも持続可能な八ヶ岳中信高原国定公園地区を目指したいものです。本物の「人と自然と文化が躍動する環境創造都市」の実現に向けて。

以上

2012年12月12日

#### 注記

- \*1 市街地や別荘地の無電柱化および田園地帯の（北海道のような）秩序ある電柱・配線整備
- \*2 道路、橋梁、トンネルなどの計画的保全・整備対策
- \*3 モラルの向上策と規制整備（条例の制定など）の徹底
- \*4 環境緑（みどり）三法（景観法、都市緑地法、屋外広告物法）参照
- \*5 モラル向上と環境教育の必要性
- \*6 ビオトープ（野生生物の生息や移動に役立つ小面積の空間単位）の建設。発祥地のドイツやフランス、イタリア、スイスおよびオーストリアなどでは、このビオトープ概念が自然の保護と再生のキーワードになっている。
- \*7 里山の荒廃化、（空間と時間と人間の関係、すなわち環境・景観・合意形成で成り立つ）“空間の履歴”の重視と無価値化した里山の新規転用
- \*8 ちゃちな町造り（安物買いの銭失い）はやめなさい。厳冬期も快適に過ごせる家づくり。
- \*9 ローカル色の良さを生かした日本島だけで満足するのではなく、欧米の環境先進国にもっと学び、真のグローバル感覚と長期的な視点をもって考えなければならない。（グローバル化とローカル化との融合）さもなければ、アジアの発展途上諸国にも遅れてしまう。（すでに、マレーシアの環境創造都市クアラルンプールやその他地域（中小都市）も優れている。英国文化の多大な影響）
- \*10 創造されるべき環境；自然生態系メカニズムと人口生態系メカニズムの調和（半自然の生態系）いかなる都市でもその成立を支えているのは自然生態系のメカニズムの基盤である。それが人工生態系のメカニズムとの調和・融合のなせるわざ（Skill & Knowledge）である。
- \*11 北杜市内の田沼里有料道路、141号線、レインボーライン、いざみラインおよび七里岩ラインの諸道路を一般生活兼観光用道路として整備・保全に集中すればよい。将来的には沿線無電柱化も。
- \*12 行政単位を超えた地域どうしの連携（長野県富士見町や佐久の八ヶ岳山麓市町村など）
- \*13 ランドスケープ（景観）エコロジーへの本格的取組み。
- \*14 定年退職者や都会に住めない人々を対象にするのではなく、この人々に加えて、子どもたちやその親世代・若年層世代のために。

#### 参考資料（引用）

- 「環境創造の思想」武内和彦東大大学院教授（1994年東京大学出版会刊）
- 「風景のなかの環境哲学」桑子敏雄東京工科大学教授（2005年同上）
- 「北杜市環境教育アイデア大図鑑2012」増田直広キープ協会環境教育事業部長監修その他環境教育マテリアルなど

笹子トンネル崩落の件を  
聞き、このようなことが  
絶対あってはならないと  
思います。そちらの改修を  
最優先で行ってほしい  
と思います。せつかく作った  
道路をもっともーっと  
大切にもらいたいと願って  
います

中部横断  
自動車道  
新ルート案  
反対です

山梨県北杜市民



必要性を全く感じない  
のでなっております

北杜市大泉町の住民です。

中部横断道が利たうの町と通過して建設さ  
れることを知りました。

笹子トンネルの事故の教訓を生かし、環境破りの

新しい道路を建設するのではなく既存の道路

の入念な安全点検に予算をまわして下

さいもし幾善対策で道路建設が必要で

したう附号線の改修にして、笹子トンネル

事故後の道路建設のモデル地としていたうかが  
ようしく再検討をお願ひ致します。

前006

壱子トンネル崩落の件を聞き、このようなことが絶対、絶対あってはいけな  
と思いのので、そちらの改修を最優先で行ってほしいと思  
います。

せっかく作った道路をもっと大切に  
してもらいたいと思います。

中部横断自動車道新ルート案  
反対です。  
なくてもいいと思います

山梨県北杜市民

必要性を感じない!

前007

子どもが森のようちえんを卒園し3年がたちます。

今でも小学3年生の娘が「ずっと通いたい」と話し、

「(自分は)ここで育ててもらった」と感謝しています。私もずっとこの場所があるものかと思っておりましたが、しかし、中部横断自動車道の新ルート案の話を聞き、あの横を高速道路ができるとなれば、森のようちえんはできないと思います。

子ども達が「自然の中で育つことのできる場所をどうか守って下さい」

どうぞよろしくお願いいたします  
山梨県北杜市民



前011

略 突然のお便りで失礼致します。北本市在住の [ ] と申します。こうたび中部横断道のルート変更について一意見を申し上げたく筆をうった次第です。総工費1400億円の億円と聞いていますが、これは未来への借金、子どもたちの負担として残ります。環境破壊、現在のハヤ岳観光園の魅力の低下などの懸念もありません。また、高速道路の建設、開通による健康被害も心配です。ルート予定地付近には幼稚園もあり、子どもたちの景観も気になります。

日頃、14号線を利用しています。大型トラックの往来も多く、道路の老朽化が目につく部分もあります。是非、14号線の改良案を改めてご検討下さるようお願い申し上げます。来月の意見交換会も含め、市民の声を反映した道路計画となるよう、ぜひ願ってやみません。何卒宜しくお願致します。甚

前010

わたしは、道がごきやなごぼしごの理由  
は、まごの園のは、おぼしごの園がたかくあります。  
そしごの園は、朝の公園と帰りの公園で、  
ゆびごきませぬ、あごごきませぬ、  
うごきませぬ、あごごきませぬ、  
びくたごきませぬ、あごごきませぬ、  
いませぬ。

山梨県北杜市市民



静かな環境求めて来ました

どうか環境壊さないで

下さる。

どうかお願いします。

北杜市内に中部横断自動車道を作る

ことに反対します。日本の中山間地では過疎化が進んでいます。就職と移住に村を離れた若者や転職先、退職後の生活の場を求めている中高年者が再び村に戻ってくる必要條件が美しい景観や環境です。高速道の建設は集落の再生の可能性を断つ切ることになります。工事の交渉を求める人たちに、集落の持続可能性のためは工事をしてはいけないこと、最善とあることを説くことこそ吉岡様の役割だと思います。

北杜市にはこれ以上の  
 高速道路は不要です。  
 必要なのは国道141号線  
 の危険箇所<sup>の</sup>整備と  
 県道の整備です。

笹子トンネルの事故が  
 示しているように老朽化し  
 た道路の整備に重点  
 的に予算を投入すべきで  
 無駄な公共事業はや  
 めべきです。地元<sup>に</sup>役  
 立たない計画です。

私は北杜市中に在住の者で  
 今回の新ルートにはあまり  
 せんが、ハゲ草の自然環境と景  
 観が失なわれる。高速道路  
 建設には反対です。  
 貴重な動物の生息地を人間  
 の都合で奪わないうで下さい。  
 国道141号線の整備の再検討を  
 望みます。

中部横断自動車道（長坂5八千穂）の基本計画  
 画区間に係る、平成24年11月21日付国交  
 省WG資料に図示されたルート帯へ案）に  
 対する悲憤について

平成25年1月14日

北杜市大泉町住民

私は、若い頃より自然を愛し、山に親しみ  
 いたかは富士を仰ぎながら余生を送りたいと

考えていました。そこで、早目に退職を決意  
 し、かねてから探し歩いて希望を満たすこの  
 地、北杜市の大泉町に居を構えたいです。春  
 夏秋冬に眺める富士の美しさや、夏の夜に舞  
 う螢の幻想的シーン、地産の野菜や果物の新  
 鮮な味覚、等々。ちゅうちゅうなく住民票を移  
 しました。三年前のことです。  
 しかし、うかつと言うべきか、この地が高  
 速道路の基本計画に含まれているではありません  
 せんか。なんと、このルート帯へ案）を知った

のは、昨年の暮れのことなので、新ルートの  
 案は、私の愛する自然と景観に土足で踏みこ  
 もうとしていゝるのです。自由人を標榜し、こ  
 のような動きに無頓着すぎたことか、情報不  
 足を招いてしまったのです。整備計画になれ  
 ば、取り返しのつかない状況が待ち受けてい  
 ると教えられ、反対運動に奔走されている方  
 々の集りに参加させていただけ、新ルート提  
 示の経緯を聴き、多くの資料を見ることか  
 さまされた。その結果、以下のようになり、自分な  
 りに考察し、反対することの正当性を確信す  
 ることができました。

1. 国交省の主張する整備効果（移動時間  
 の短縮、災害に強い道路ネットワーク、  
 地域医療サービスの向上、物流の効率化）  
 について、推定のデータは説得力に乏し  
 く、少なくとも現在の「北杜市」には、  
 ほとんどメリットはない。

2. 経済的観点からみても、費用対効果か

られて合理性を有するとは到底考えられ  
 ない。公共投資の方途の無策ではなから  
 うか。しかも、不幸にも中央自動車の筐  
 子トンネルの事故が発生し、多大な人的  
 、物的損害を目の当たりに見ました。つ  
 まり、既設のインフラのメンテが急を要  
 する投資であることが誰の目にも明らか  
 になったのです。  
 狭い国土の日本が、米国や中国等の広  
 大な国土の交通網と同列な構想で高速道  
 路の新設を推進する必要性には合理性が  
 ない。世界一の財政赤字を有する日本に  
 は賢明な投資先を考えることが喫緊の課  
 題ではないのか。  
 3. 環境的見地から考えても最低です。中  
 央自動車道だけでも沿線の住民は迷惑を  
 被っているのに、さらに騒音、排気ガス  
 等が増大すれば、精神的、肉体的負荷が  
 健康を損なうことは明白である。また、  
 言うまでもなく、希少動植物に負荷を与え

水や空気の汚染をもたらすであらう。  
 4 何よりも、この地の自然・景観を損な  
 われることが最大の関心事である。ここ  
 の住民がハケ岳南麓に住む権利の一つを  
 奪われるからである。雄大にして表現す  
 ることも難しい素晴らしい景観が白無し  
 にされることは許されるものではない。  
 「眺望権」である。確固として権利とし  
 て確立させなければならぬ。二度と再  
 生不可能な財産を高速道路整備のわずか  
 な効果によって失わされることへの反対  
 論はエゴイズムではない。「美しい国土  
 を守ろうとする」「愛国心」の発露である。  
 (私の居所からの風景を漢詩風に詠む。  
 東望金峰山  
 西向見駒岳  
 南座仰富嶽  
 北立眺赤岳)

ハケ岳南麓の住民が愛してやまないこの  
 景観を、後世に残そうとする意志は神聖

である。  
 5. 新ルート帯(案)の不自然さは理解に  
 苦しむ。これは、当初の案が反対運動に  
 会って修正されたのが原因であろう。  
 要は、長坂JCTにつなぐというルート計画  
 当初の公示に根拠を以て、更なる案を  
 検討することとしようとはなかった。国  
 交省当局の怠慢の結果である。多くの  
 住民が高速道路の整備そのものに反対な  
 のであるが、百歩譲ってルートの選定を  
 考えれば双葉JCTにつなぐのがベターであ  
 る。長坂JCTにつなぐという推進論は、  
 計画当初からの条件や状況の変化、住民  
 の意識の高まり等を無視した暴論とい  
 わざるを得ない。そもそも、中部横断道  
 路の一体性を主張するのであれば、わざ  
 わざ長坂JCTに迂回することは、湾曲が大  
 きく、高度差、経済性等を勘案しても地  
 理的合理性を欠くと断せざるを得ない。  
 双葉JCTの案が検討するに価する根拠は日

本の経済的、技術的等の状況がある。つ  
 まり矛盾するようであるが、景気を刺激  
 するためには公共投資を拡大するのであれ  
 ば、自然、景観等を保護するための費用  
 を計上することは可能であるということ  
 や、高度差等の対応に必要なトンネルや  
 高架等の建設における世界に誇る日本の  
 技術やノウハウが存するということであ  
 る。しかし、この論拠には慎重であらね  
 ばならない。恐らく、このルール案が提  
 示されれば新たな議論を呼ぶことは必  
 定であるからである。  
 したがって、ルールについては将来に渡  
 って検討を続けるしかない。日本の科学  
 技術の進展が、新たな交通の在り方に正  
 解を出してくれることを切に願うもので  
 ある。

現在の結論としては、住民が一致して要望  
 している国道141号の改修より他はない。

前略

電子トンネル事故は、道路行政に  
格別を促していただきます。

同じ道路予算なら「維持管理」  
にまわして下さい。

新しい土帯には都念からの移  
住者や別荘族が主に居を構え  
ています。この先は今回の計画  
と一緒に「がかり」していただきます。

これが決定しますと、この地  
域の過疎化が、急激に進み  
ます。間違ありません。

考えなさいして下さい。

東京に生まれ育った私は、今岳山麓の自然に魅力を感じて移住しました。まもなく十年になります。こんな人が少ない往来も少ない地区に、高速道路建設が計画されるとは思っても見ませんでした。高速道路建設には断固反対します。国道141号線を毎日利用しているが、産業の重要道路としても使われていると思えないし、また、渋滞に遭遇したことも一度もありません。なぜ高速道路が必要なのでしょう？国道141号線の改修で充分でしょう。前から決まっていた事だからとか、上司からの指示だからという言い訳は止め、国家公務員としての矜持を持って良識のある判断をお願いします。

